



東京都立 西高等学校

- 学校長／萩原 聡
- 創 立／昭和12年
- 生徒数／977名(男507名、女470名)

沿革

昭和12年、東京府立第十中学校として赤坂区青山北町(当時)で開校。昭和14年に青山から現在の校地に移転し、昭和21年に東京府立玉泉中学校が本校に統合となる。昭和25年、名称を東京都立西高等学校と変更し、男女共学を実施。平成9年に新校舎全面改築工事が終わり、平成29年に創立八十周年記念式典を挙行了した。

特色ある教育

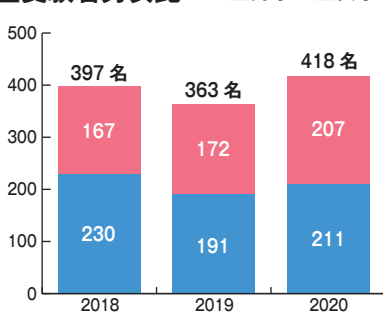
本校では、「文」（学習・教養）と「武」（学校行事、部活動等）の二つの道を究める「文武二道」を奨励しています。「授業で勝負」の理念のもと、日常的に学びを深める学習活動により高い学力を身につけながら、生徒が主体的に取り組む伝統ある課外活動等を通じて、豊かな人間性や協調性、「自主・自律」の精神を涵養することを指導の重点としています。そして、個性の伸長を図るとともに、将来の生き方を見通した難関大学への進学等、生徒一人一人の進路実現を支援し、予測困難な時代、国際社会で活躍できる「調和のとれた大きな器の人間」の育成を目指しています。そのため質の高い授業、講習・補習等の実施、知的好奇心を刺激し豊かな教養を身につける土曜特別講座、同窓会やPTAと連携したキャリア教育の実施、ボストン・ニューヨークでの海外研修等の海外交流事業等、他校に例を見ない特色ある教育活動を実施しています。

学校行事

- 【4月】 入学式
- 【5月】 遠足(奉仕体験活動)、運動会
- 【6月】 西高フォーラム、訪問講義、夏季クラスマッチ
- 【7月】 訪問講義、林間学校(1年)
- 【8月】 部活動合宿
- 【9月】 実力考査、記念祭
- 【10月】 修学旅行(2年)
- 【11月】 実力考査(3年)、校内模試(1・2年)、訪問講義
- 【12月】 訪問講義
- 【3月】 卒業式、春季クラスマッチ、海外研修

過去入試データ

■受験者男女比



入試結果のデータ一覧(応募・受験・合格)

年度	募集者数			応募者数			受験者数			合格者数			実質倍率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2018	132	122	254	272	180	452	230	167	397	139	125	264	1.65	1.34	1.50
2019	132	121	253	228	189	417	191	172	363	139	125	264	1.37	1.38	1.38
2020	132	122	254	251	227	478	211	207	418	139	129	268	1.52	1.60	1.56

※上記は一般入試の数値です。



校舎写真▲



MAP▲

交通

京王井の頭線久我山駅より徒歩10分。
JR中央線西荻窪駅からバスに乗り、「西高校西門前」下車すぐ。

▶ 入学者決定方法（2020年度）

推薦入試（定員の20%）

募集定員	配点	
男子32名	調査書点 5段階×9教科× $\frac{360}{45}$	360点
女子30名	集団討論・個人面接点	240点
合計62名	作文点	300点
合計		900点

一般入試（定員の80%）

募集定員	配点	
男子132名	学力検査100点×5教科× $\frac{700}{500}$	700点
女子122名	調査書点（主要5教科+技能4教科×2）× $\frac{300}{65}$	300点
合計254名	合計	1000点

▶ 2020年度 入試問題分析

英語 大問4題構成。リスニングを除いた小問数は20問となった。その中で記述問題は9問となった。語数は②約900語、③約850語、④約1000語。②では、会話の流れをおさえて空所補充させる選択問題、本文の内容が合うように1文の中の空欄に適語を補充する問題。内容一致選択問題と内容把握記述問題も出題された。③では、文脈を踏まえた語句整序問題、下線部が引かれ指定された文の意味を読み取る問題、英文の内容を絵で表したものを選択する問題、文脈に沿って適語を入れる問題、内容一致問題が出題された。④では、文脈に沿って内容に合うように語句を並べ替える問題、該当の英文が文章のどの空欄に入るかを問う問題、該当の空欄に4つの文がどういう順番で並ぶかを問う問題、4つの空欄にmore, less, similar, differentのどれかの語を入れる問題、内容一致問題が出題された。

リスニングを除き大問3題のためそれぞれを平均12分程度で解くスピードが要求されている。記述問題に対応するためにも語彙力のレベル向上と短時間で長文の内容把握が必要ことから、早い時期から長文読解に取りかかり、過去問を中心に難度の高い長文読解練習と速読の対策をしておく必要がある。

数学 今年度は昨年度と問題数は変わらず、大問4題、小問14問であり、各大問の設問数も変化はなかった。また、例年通り答えだけではなく途中の式や計算を書かせる問題が2問、また、三角形の合同を利用する証明問題が1問出題された。①は小問形式の問題で、③では2個のさいころの確率の問題、④は不定方程式の整数解を求めさせ⑤は一つの角が60°であるひし形の作図問題であった。①は全問正解したいところである。②は二次関数に図形が絡む問題が出題された。①問1は正方形の問題、②問2は三角形の面積から座標を求める問題、③問3は平易な問題であるが問題で与えられている図が不正確で戸惑った受験生が大半であると思われる。③は円と直角三角形が絡む問題であった。②問2は三角形の合同を利用する証明問題が出題された。②・③の合計6問から4問は正解したい。④は自然数に対して操作を行い、規則性を調べる問題である。①問1②問2は落ち着いて作業に取り組み得点できる問題である。昨年度同様に空間図形の出題はなかった。

国語 大問は例年通り5題で小問は26問、問題数は昨年度と変わらなかった。記述問題は200字作文、内容説明、抜き出しの3問で昨年度通りだった。①と②漢字の読み書きは各4問。例年どおりの四字熟語が出題された。普段から新聞、本の中に出てきた四字熟語などに主体的に関わるのが大切である。③小説文は佐川光晴『駒音高く』からの出題であった。約5600字で、昨年度より若干長い、内容も取り組み易く、将棋の詳細を知らずとも登場人物の心情の変化を正しく読み取ることは難しくない。④論説文は港千尋『インフラグラム』からの出題である。約4800字のボリュームは昨年度より短くなった。テーマは「なかばインフラ化している映像」という切り口で、現代の「映像」を論じた文章である。⑥問6はあらかじめ設問を読み、論理展開をつかみながら本文を読めば時間短縮につながる。⑤現古融合文は池田弥三郎『日本の旅人 在原業平』からの出題である。本文約3400字と、こちらも昨年度より短めの本文である。③問3「弁」の意味・用法を答える問題は難問だが、それ以外は例年どおり、融合文は現代語訳を利用すれば現代文の問題ととらえられる。

▶ 2020年度 大学合格実績

実績数値は現役・浪人の合計数。（ ）の数字は現役合格者の数。

東京大 20名(14名)	東北大 14名(9名)	お茶の水女子大 5名(3名)	早稲田大 128名(58名)	立教大 59名(29名)
京都市大 22名(4名)	筑波大 6名(4名)	東京外語大 12名(7名)	慶應義塾大 82名(44名)	中央大 89名(37名)
東京工業大 9名(3名)	千葉大 8名(5名)	東京農工大 13名(9名)	上智大 43名(27名)	法政大 57名(17名)
一橋大 12名(11名)	大阪大 7名(6名)	横浜国立大 14名(11名)	東京理科大 114名(47名)	芝浦工大 39名(10名)
北海道大 18名(9名)	九州大 6名(3名)	東京都立大 5名(4名)	明治大 161名(61名)	津田塾大 19名(13名)
国公立大合計 206名(116名)				